

# 農業振興プログラム基礎調査委託業務

委託元: 豊橋市 調査実施: (公社)東三河地域研究センター

## 1. 業務の目的

本市では平成28年度から5年間の産業施策の基本的考え方と戦略を明らかにし、それに基づく取り組みの計画的かつ着実な推進を図るため、「豊橋市産業戦略プラン」の策定作業を行っているところである。

本調査では、当該プランに位置付ける新たな農業振興施策立案のため、農業経営者向け2,500件および市民向け2,000件ならびに事業者向け600件を対象としたアンケート調査による基礎データやニーズ、動向調査を行い、調査結果の集計、分析を行う。

## 2. 業務の実施

- (1) 調査地域: 豊橋市全域
- (2) 業務期間: 平成26年9月1日～12月26日
- (3) 調査方法: 設問紙にもとづく郵送方法
- (4) 調査対象・標本数・回収率等(下図)

## 3. 調査結果の概要(農業経営者アンケート一部抜粋)

- ・豊橋市の主要作物であるキャベツ(露地)、トマト(施設)、ミニトマト(施設)を主に生産している農家についての現状分析。(キャベツ農家326人(29%)、トマト農家57人(5%)、ミニトマト農家44人(4%))
- ・1農家当たりの経営耕地面積: 全農家2.3ha、キャベツ農家3.6ha、トマト農家1.6ha、ミニトマト農家1.5ha
- ・農業所得: ・全農家の3割は「農業所得がマイナス」。  
キャベツ農家、トマト農家の2割は「500～1千万円」。  
ミニトマト農家の3割は「1千万円以上」
- ・拡大意欲: ・経営を「拡大したい」 → 全農家では1割、  
キャベツ農家とトマト農家は1割、ミニトマト農家は3割
- ・後継者: ・後継者が「いる」 → 全農家では3割、  
キャベツ農家は3割、トマト農家とミニトマト農家はそれぞれ4割

調査対象	標本数	有効配布数(未到着数を除く)(A)	回収数	有効標本回収数(全問無記入の白票を除く)(B)	有効標本回収率(B/A×100)
①市内の農業経営者	2,500人	2,498人	1,208人	1,202人	48.1%
②市民在住の20歳以上の市民	2,000人	1,987人	753人	753人	37.9%
③市内事業者	600人	578人	250人	248人	42.9%